

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年 10月 3日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104369		
法人名	社会福祉法人 うすい会広島光明学園		
事業所名	グループホーム光明牛田		
所在地	広島市東区牛田本町6丁目1-1 (電話) 082-207-4162		
自己評価作成日	令和4年9月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104369-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104369-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年9月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

2ユニット18名の利用者様と「1日を楽しく明るく過ごす」ことを目標に日々過ごしています。新型コロナウイルスの流行で外出が難しい中、屋上に上がり、牛田・白島地域が見える事で会話が弾みます。ベランダで菜園等をして気分転換をしています。ホームでの生活や様子を月1回は写真を送り、家族の方と交流を行っています。利用者様に「安心、安全、健康、笑顔」が絶えないホームになるように努めています。現在は新型コロナウイルス感染症蔓延防止に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

外出、面会自粛で例年通りの地域交流が困難な中で地域包括支援センター、民生委員より地域情報を得て、今後の交流に繋げている。屋上に上がったの日光浴、外気浴、ベランダで花の植え付けから水やりなど室内においての歩行訓練、レクリエーションの卓球など外出は出来ないが室内での筋力低下予防の取り組みをしている。家族に月1回請求書に同封する写真付きの日常の様子など面会は困難ではあるが安心に繋がる支援をしている。副菜は厨房で作っているが、ご飯は事業所内の台所で炊き、ご飯の炊ける香りや行事食やおやつ作り、利用者を選択しやすい言葉掛けによるリクエスト食など、食を楽しむ支援をしている。休み希望や有給休暇が取りやすく職員間で互いに話しやすい、働きやすい環境を整えている。健康面に関して話し合いを重ねて細やかな対応や最善の支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人全体の理念「三宝一如」とグループホームの理念そのものが地域密着を目指している。理念をもとに、地域の行事への参加を通じ、実践につなげている。今年にはコロナの為、地域行事への参加は難しかった。	朝の申し送り時に理念を読み合わせて職員が今日何をすべきか確認している。家庭的な雰囲気の中で利用者の笑顔を引き出す為に、職員が笑顔で利用者により優しく寄り添うケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内の行事に参加させて頂いたり、散歩や買い物等に参加して頂く事で地域の方々とのふれあいを持っている。外出支援等、地域との関係性が途切れないようにしていたが、本年はコロナの為受診があった後に買い物を行っている。	コロナ禍で地域交流が困難な中で民生委員からの地域情報や認知症の理解を深める相談などの取り組みを行っている。今後も地域住民の一員として行事参加など交流を深めていく考えである。又、かかりつけ医の受診や日常的にA Bユニットの行き来など身近な所からの交流を実践している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事、法人行事へ参加し、地域の方々との交流を通じ、認知症のご利用者様と触れ合ってもらい、認知症への認識を深めて頂いている。又、認知症サポーター養成講座に参加し、地域の方へ認知症について話す機会を設ける事もある。コロナの為は出来なかった。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご家族、民生委員、地域包括支援センターの職員を招き、意見交換を行い、サービスの向上に努めている。今年にはコロナ感染防止のため、会って話し合いが出来なくて民生委員や地域包括支援センターの職員に照会にて意見を頂くようにしている。	運営推進会議には活動報告、事故・ヒヤリハット報告などしている。開催中止の時は照会にて参加者に書面にて意見を聞いている。意見の中で転倒や服薬についての対処法やアドバイスなどを得て、職員全体で介護方法や改善策、対応方法など検討、見直し、サービスの向上に繋げている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の報告を、開催後に介護保険課へ送付している。又、入所者が他サービスを利用するにあたり、事業所で不明瞭な点等について、問い合わせる等、行っている。	運営推進会議議事録を送付し事業所の現状・活動報告をしている。介護支援専門員が介護保険制度について改正の疑問点などの問い合わせや市の開催する研修などに参加し、信頼関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関への施錠は行っていない。身体拘束については、年1回は必ず、施設内研修を開催し、研修で得た情報を職員で共有している。年間3ヶ月に1回は事業所内で研修を行っており、運営推進会議でも第三者と身体拘束について意見を交えている。	全員の意見をまとめて3ヶ月毎の身体拘束適正化委員会の開催や全体会議で、4点柵についての研修を行っている。夜間の見回りの回数を増やすなど職員の対応策や提案など意見交換を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内研修を開催し、研修で得た情報を職員全体で共有している。職員一人ひとりの言動にも注意を払い、お互いに意識をしながら防止に努めている。新入職員には、入職時、管理者が虐待について、オリエンテーションを行っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	実際に利用されている方がいるため、担当者とやりとりをしながら、職員一人一人必要性を学ぶ機会が持っている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に重要事項を説明させて頂き、理解と納得を図っている。改定時も随時、ご家族に説明を行い、家族の方の質問にも応じている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見・要望を受け付けているが、書面での受け取りは難しい為、来所された際に気づきや要望を等伺い、介護サービス計画書や運営面に反映させている。	毎月の請求書と一緒に担当職員が日中、夜間、入浴、排泄、歩行など日頃の様子やカラー写真を送付し現状報告をしている。面会時や電話で身体的な相談や靴のサイズ、細かな気づきなど意見を聞く機会を設け、反映に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	発言が少ない職員の意見を聞くための事前アンケートの実施や、個別面談の機会を設け、職員から意見を引き出せるようにしている。小さな気付きから反映させている。	日々の介護の中で利用者の笑顔が見られるアイデアや提案、希望休や有給休暇が取りやすいシフト調整など働きやすいよう環境を整備している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望休暇をシフトに反映させる。時間外労働ができる限りないように業務の分担や声掛けを行い、超過勤務時には時間外手当の支給と、時間調整を図り、負担の軽減を図っている。個別面談にて、前期・後期と、目標と実績に沿った評価を実施し、やりがいに繋がるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個別に目標を設定し、面談をする事で、今現在の個々のレベルを自覚してもらいながら、今後の取組みを一緒に考え、職員が成長できるようサポートしている。施設内研修参加を促している。本年は外部研修は出来てない。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	事業所だけの人間関係だけではないネットワーク作りを行っている。又施設内研修でも、グループワークを中心として実施している為、他事業所との意見交換や、ディスカッションを実施しており、少しでも個々のレベルがアップできるように取り組んでいる。オンラインで行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用前に面談し、現状における心境への配慮、要望等の確認、アセスメント、担当者会議を通じ、安心してサービスの利用をして頂けるよう、又良好な関係が築けるように、取り組んでいる。本人様と時に会話の中で本人希望を見出し出している。電話対応で意見を聞かせてもらっている又、手紙を書かせてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用前の面談時や契約時にご家族様の置かれている立場や心境に耳を傾け、サービス利用開始されてからも、面会等にお越しになられた際に、お話を聞かせて頂く等し、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	しっかりと話し合いのもと、求められているサービス（例えば訪問歯科の利用等）必要なサービスの調整、通いなれた病院への通院等希望に随時対応しているように努めている。 皮膚の状況に応じて、皮膚科の往診も入れ早期治療に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様のできる事を見極め自立支援を行っている。又職員の苦手な分野（例えば料理や洗濯物の畳み方、園芸等）を教えて頂いたり、何事も一緒に取り組みをする事を心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人がよりよい生活を送って頂く為に気づきや要望を聞かせて頂きたい旨を伝え、意見をサービスに反映させている。又、通院等ご家族に協力を頂ける事についても話をしながら、難しい時にはホームで対応する等、双方が協力をしながら本人を支えていけるように努めている。相談があればいつでも対応を行う。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	地域行事に参加して頂きながら、馴染みの関係が保てるように努めている。又日常的に、昔からの行きつけのスーパーや病院、食事処への外出の支援にて、知人や友人等大切な「人」「場所」との関係が薄くならないように努めている。手紙やはがき等の交流も取り入れている。コロナの為今年は出来ていない。	昔からの友人、知人との手紙や葉書の交流や行きつけの理容室など関係が途切れないよう支援している。利用してから新しく馴染みになった職員や利用者など生活する上で楽しみのある関係の継続に努めている。	

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々ご利用者様同士の良好な関係が続くよう、又、新規入所者の方には、職員が会話等の架け橋となり、関係の構築に努め、集団レク等により、楽しいひと時の提供の中で更に関係性が良くなるように努めている。散歩に行く時ひとりではなく二人連れ添って会話も楽しんで頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても相談が入れば対応している。例えば、退所された後に電話連絡させてもらい、写真の提供や、状態の確認、要望や相談があった場合には随時対応している。今の状態を聞いたり家族の方とより合っている。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当者会議や事業所の会議にて、本人、ご家族の意向を踏まえながら、生活がより良い物となるように努めている。困難な場合においても、職員間で話し合い、できる限りの最善のサービスが提供できるように努めている。	生活歴や現状を知る事で尊敬の念を抱き笑顔溢れる優しい声掛けで言葉に出せない表情や仕草で思いや意向を把握している。また、思いや意向を職員間で共有し、利用者に寄り添う支援を実践している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	サービス利用前に事前調査し、ご家族やご本人からアセスメントにとる情報の把握に努めている。サービス利用開始後も、日常生活の中から、情報収集を行い、生い立ちや趣味や嗜好等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様との日々のコミュニケーションや、観察により、本人のできる事出来ない事、リズム等を見極め、職員間で情報の共有に努めている。食後や入浴後等に疲労が伺えるようであれば、その方の体力に応じながら短時間ベットやソファで休んで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員で話し合った事を、再度ご家族に報告、検討してもらい、必要に応じて医療機関等の関係者と連携しながら現状に即した介護計画書の作成に努めている。</p>	<p>利用者・家族の要望や職員間で話し合った意見や提案が活かされた介護計画書を作成している。気づきを申し送りノートで共有し、利用者個々のモニタリングシートに書き入れている。1ヶ月毎に介護支援専門員が評価を行い見直すなど、現状に即した介護計画書を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録だけでなく、担当者会議、事業所会議、ヒヤリハット報告書、事故報告書等をもとに、サービスの内容の見直しを行っている。申し送りノートを作成し、毎日そのノートを見て随時、ケアの処遇変更を職員間に伝達している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>気持ちが落ち着かない時には、ご家族様と連携し、電話で話しをしてもらったり、ゆっくりと職員との談話で気分を変えてもらう。物に対する心配や不安事がある場合はご家族様に連絡し、後日荷物を持ってきて頂いている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナの為参加は無理だったが個別レクや集団レク等の提供も行い、日常生活が楽しくなるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>通いながれた病院への受診を基本としている。ご家族が通院をされる場合においても、管理者やケアマネが足を運び、担当医との面識を作る取り組みをしている。又、施設での情報を紙面に記入し、受診時担当医へご家族より渡して頂いている。</p>	<p>かかりつけ医への送迎は事業所が同行支援を行い、家族に情報を伝えている。受診は基本的に家族が対応している。受診後は家族、担当医とも情報共有している。週1回、近隣の協力医療機関の往診があり、健康状態の把握に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	全身状態やバイタルに異常がある場合は迅速に事業所看護師に報告し、看護師の判断にて主治医への報告、服薬の処方や必要な科への受診を行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中定期的に面会に伺い、主治医や医療連携室、薬剤師や看護師へ状況の確認を行いながら、退院に向けて備えを行っている。面談が行えない場合は電話にて情報を得ている。家族の方々との連携をとっている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約の際に、重要事項の説明として、伝え同意を得ている。又、面会に来られた際には、現状を伝え、ご家族へ、事業所として提供できる限界について等説明しながら、ご理解頂けるように取り組んでいる。終末期の在り方について、主治医や往診医から家族に段階事、治療方針について説明をして頂き、施設での看取り、医療機関への入院を本人、ご家族と検討している。	契約時本人・家族に終末期ケアの説明を行い、看取りケアはしていない。食事が摂れず、常時点滴が必要になった時、主治医や入院先の医師と相談連携し、出来る最善方法の支援をしている。現在看取りはしていないが1つ1つ課題をクリアして法人全体の体制など整えるよう検討している。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	特に夜間帯の急変に備え、新入職員への緊急時の対応について、管理者や看護師が説明を行い、訓練を実施している。急変時のマニュアルに基づき研修で年1回実践を行っていたが、本年は出来なかった。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を実施し、火災発生時に備えて訓練を行っている。夜間帯を想定し、野外への避難誘導が身に付くよう訓練している。	年3回日中、夜間、災害などを想定した訓練をしている。消防署立ち合いで地域住民に声掛け、消火器を使用した訓練や夜間想定時は一人対応の為利用者を1か所に集合し近隣職員に連絡を入れるなど実践に繋がる訓練をしている。災害時は施設避難所として受け入れ対応をしている。	



自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	些細な事に注意が払えるよう日頃から職員全員で注意しあいながら、プライバシーや尊厳を損ねない対応に気を付けている。トイレでの排泄時、転倒リスクがない方においてはカーテン越しに見守りを行い、居室の扉は出来る限り閉めるようにしている。	接遇についての研修やプライバシーの研修をしている。言葉使いも尊厳のある声掛けや質問の仕方をし、利用者の意向を確認し、利用者を決めてもらえるような言葉かけに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	行動する前には、必ず、ご本人の意向確認を行うよう取り組んでいる。答えが難しき方でも質問の仕方に選択肢を設ける投げかけを行い、自己決定に繋がるよう取り組んでいる。10時、15時の水分時はメニュー表を見せ、ご本人に選択して頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務優先とならないように常日頃から注意しながらご本人にペースに合わせて支援をさせて頂いている。その日の体調に合わせて、個別で食事の時間を遅らす等の対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時・入浴時には必ずご自身に服を選んで頂いている。又、ご自身で身だしなみを整える事が出来ない方は職員が希望を聞きながら髪や服を整えている。定期的に訪問美容院を活用し、パーマや髪染めを本人や家族に聞きながら行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事メニューを食事前に伝え食事を楽しくして頂く様に努めている。音楽をかけながらリラックスして頂けるよう環境を整えている。嫌いな物がある日には、個別メニューを作るようにしており、リクエストをお聞きし、メニューに取り入れる事もある。盛り付け等をして頂き楽しんでもらっている。	食事前には口腔体操や献立を伝えている。行事食のちらし寿司や父の日は焼肉やノンアルコールなどを提供している。ホットプレートを使用してお好み焼き、焼きそば、ホットケーキを提供している。利用者はテーブル拭き、盆拭き、コップ拭きなど出来る事で活動に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入をお願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分量を確認しながら、少ない方へのアプローチは目標に掲げる等し、こまめに取って頂けるよう、好みの飲み物を取り入れながら提供している。食事に関しても、個別に形態を調整し、好みに合わせて提供する時もある。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアの実施を全ご利用者様に実施して頂いている。訪問歯科医の医師と連携し、個別的に指導を仰ぐこともあり、口腔内の衛生が保てるように取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>基本的に、ご利用者様トイレ誘導を実施しトイレにて排泄して頂けるよう誘導している。個別に排尿パターンを把握し、訴えがあった場合には随時誘導を行い、パット内への排尿が少ない方は紙パンツは使用せず、布パンツを着用している。</p>	<p>個別に時間帯や排泄パターンを把握し、声掛け誘導にてトイレで座位での排泄支援に繋げている。日中は布パンツ7名、夜間はポータブルトイレ1名で日中歩行訓練などを行い、自立支援に日々取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便がなかなかない場合にはお風呂やトイレにて腹部マッサージさせて頂く等し、自力排泄が促せるよう取り組んでいる。随時、牛乳やヨーグルト、カルピス、ヤクルト等の乳製品を提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の希望を確認し，その方の希望に沿えるように声掛け促しをさせて頂いている。順番に関しても，一番風呂を好まれる方，最後を好まれる方等それぞれの希望に沿って一人一人の支援を行っている。入浴剤を好まれる方等への対応も行っている。</p>	<p>入浴は基本毎週（月・木）午前浴であるが，一人ひとり希望にあわせ柔軟に対応している。同性介助や毎回お湯を変えるなど寛いだ気持ちでゆっくりと湯舟に浸かってもらえるよう心配りをしている。入浴後は新しい衣類に着替え気持ちよく過ごせるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入をお願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中の活動後の休息への配慮を個々に行っている。日中傾眠が強い方は、少しの時間ベットで休んで頂き、夜間の影響ないように取って頂く。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬マニュアルに沿って提供を行っている。日々の状態に配慮し、内服薬の見直し等、体調に変化があった場合には医師に相談し、調整をして頂いたりする事もある。変更があった場合には必ず、職員間で申し送りをを行い、情報の共有に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>会話が好きな方にはしっかりお話をしながら、他者と繋がりができるよう取り組みを行っている。カラオケが好きな方にはカラオケを提供し、手作業が得意な方にはそちらを提供する等1日の中で、生活が楽しくなるよう支援を行っている。裁縫が得意な方には破れやほつれがある他の利用者様の衣類などを修繕してもらっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>月の目標に掲げ、計画を立てながら外出の支援を行っている。買い物希望を確認しつつ出来る限り希望を叶えられるよう取り組んでいるが、本年はコロナの為出来ていない。</p>	<p>日常的な外出支援はコロナ禍で困難であるが、ベランダの花の水やり、屋上での日光浴や外気浴、室内から見る学校の子供の活動、季節の飾り付けなど外出しなくても室内に居ながらにして季節を感じる支援に取り組んでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>金銭に関しては基本家族が管理されている。お金に対して不安が強い方は家族の承諾の上、少額のお金を本人に持って頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Aユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望時にはホームの電話にてご家族と連絡を取り合う方もおられる。手紙についても、書かれた際には、職員と一緒にポストへ投函しに行っている。オンライン面会も支援している。電話を掛けたい時は掛けてもらっている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花や、ご利用者様と一緒に季節の飾りを作り、一緒に飾る等行っている。トイレ内には常に消臭剤を設置し、排便があった場合は消臭スプレーを随時使用し、不快感への配慮や光が強い時には居室やホールのカーテンを閉める、心地よい風が入る時には窓を開放する等、環境面への配慮も行っている。	空調管理、換気、消毒など新型コロナウイルス感染症予防対策をしている。ソファ席、テレビ台、机、椅子などを利用者の動線に支障のないよう配置しクッションや足台を準備するなど、意心地よく過ごせるよう工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食事時以外は自由に席に座って頂き、ご利用者様の自由に使って頂いている。居場所作りとしては、ソファが好きな方や一人がけのテーブルが好きな方等出来る限り個々に合わせ対応させて頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	基本的に入所の際には、ご家族様にご本人が使い慣れた物を持って来て頂けるようにしている。ご家族様からのプレゼントやご本人が作られた作品、位牌、ご家族との写真等を飾り、自由にさせて頂いている。	自宅で使い慣れた物の持ち込みなど自由である。居室で季節感を感じるようにひな人形やクリスマスツリーなど季節によって思い思いの飾り付けをしている。居室で過ごす上で好みの物に囲まれて穏やかに過ごせるよう一人ひとり工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご自身の所有物に制限はかけず、持ち込んで頂いている。日常生活においても、極力手は出さず、見守る事から状況を見極め、それぞれに合った支援を心掛けている。花の水やりなどを行って頂き、洗濯ほしや洗濯物をたたんで出来る事に支援を心掛けています。		

V アウトカム項目( グループホーム光明牛田Aユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>法人全体の理念「三宝一如」とグループホームの理念そのものが地域密着を目指している。理念をもとに、地域の行事への参加を通じ、実践につなげている。今年コロナの為、地域行事への参加は難しかった。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>町内の行事に参加させて頂いたり、散歩や買い物等に参加して頂く事で地域の方々とのふれあいを持っている。地域との関係性が途切れないようにしているが、本年はコロナの為受診があった後に買い物を行っている。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>地域行事、法人行事へ参加し、地域の方々との交流を通じ、認知症のご利用者様と触れ合ってもらい、認知症への認識を深めて頂いている。又、認知症サポーター養成講座に参加し、地域の方へ認知症について話す機会を設ける事もある。コロナの為できなかった。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>ご家族、民生委員、地域包括支援センターの職員を招き、意見交換を行い、サービスの向上に努めている。今年コロナ感染防止のため、会って話し合いが出来なくて民生委員や地域包括支援センターの職員に照会にて意見を頂くようにしている。</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の報告を、開催後に介護保険課へ送付している。又、入所者が他サービスを利用するにあたり、事業所で不明瞭な点等について、問い合わせ等、行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関への施錠は行っていない。身体拘束については、年1回は必ず、施設内研修を開催し、研修で得た情報を職員で共有している。年間3ヶ月に1回は事業所内で研修を行っていく事になり実行しています。</p>		
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設内研修を開催し、研修で得た情報を職員全体で共有している。職員一人一人の発言にも注意を払い、防止に努めている。新入職員には、入職時、管理者が虐待について、オリエンテーションを行っている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>実際に利用されている方がいるため、担当者とやりとりをしながら、職員一人一人必要性を学ぶ機会が持っている。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に重要事項を説明させて頂き、理解と納得を図っている。家族の方の希望も聞き入れている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見・要望を受け付けているが、書面での受け取りは難しい為、来所された際に気づきや要望を等伺い、介護サービス計画書や運営面に反映させている。</p>		



自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	発言が少ない職員の意見を聞くための事前アンケートの実施や、個別面談の機会を設け、職員から意見を引き出せるようにしている。小さな気付きから反映させている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望休暇をシフトに反映させる。時間外労働ができる限りないように業務の分担や声掛けを行い、超過勤務時には時間外手当の支給と、時間調整を図り、負担の軽減を図っている。個別面談にて、前期・後期と、目標と実績に沿った評価を実施し、やりがいに繋がるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個別に目標を設定し、面談をする事で、今現在の個々のレベルを自覚してもらいながら、今後の取り組みを一緒に考え、職員が成長できるようサポートしている。施設内研修の参加を促している。本年は外部研修は出来ていない。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	事業所だけの人間関係だけではないネットワーク作りを行っている。又施設内研修でも、グループワークを中心として実施している為、他事業所との意見交換や、ディスカッションを実施しており、少しでも個々のレベルがアップできるように取り組んでいる。オンラインで行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用前に面談し、現状における心境への配慮、要望等の確認、アセスメント、担当者会議を通じ、安心してサービスの利用をして頂けるよう、又良好な関係が築けるように、取り組んでいる。本人様と時に会話の中で本人希望を見出し出している。		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	サービス利用前の面談時や契約時にご家族様の置かれている立場や心境に耳を傾け、サービス利用開始されてからも、お話を聞かせて頂く等し、関係作りに努めている。電話対応で意見を聞かせてもらっている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	しっかりとした話し合いのもと、求められているサービス（例えば訪問歯科の利用や、訪問マッサージの利用等）必要なサービスの調整、通いなれた病院への通院等希望に随時対応していけるように努めている。皮膚の状況に応じて、皮膚科の往診も入れ早期治療に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様のできる事を見極め自立支援を行っている。又職員の苦手な分野（例えば料理や洗濯物の畳み方、園芸等）を教えて頂いたり、何事も一緒に取り組みをする事を心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人がよりよい生活を送って頂く為に気づきや要望を聞かせて頂きたい旨を伝え、意見をサービスに反映させている。又、通院等ご家族に協力を頂ける事についても話をしながら、難しい時にはホームで対応する等、双方が協力をしながら本人を支えていけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	地域行事に参加して頂きながら、馴染みの関係が保てるように努めている。又日常的に、昔からの行きつけのスーパーや病院、食事処への外出の支援にて、知人や友人等大切な「人」「場所」との関係が薄くならないように努めている。手紙やはがき等の交流も取り入れている。コロナの為今年は出来ていない。		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々ご利用者様同士の良好な関係が続くよう、又、新規入所者の方には、職員が会話等の架け橋となり、関係の構築に努め、集団レク等により、楽しいひと時の提供の中で更に関係性が良くなるように努めている。散歩に行く時ひとりではなく二人連れ添って会話も楽しんで頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても相談が入れば対応している。例えば、退所された後に電話連絡させてもらい、写真の提供や、状態の確認、要望や相談があった場合には随時対応している。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当者会議や事業所の会議にて、本人、ご家族の意向を踏まえながら、生活がより良い物となるように努めている。困難な場合においても、職員間で話し合い、できる限りの最善のサービスが提供できるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	サービス利用前に事前調査し、ご家族やご本人からアセスメントにとる情報の把握に努めている。サービス利用開始後にも、日常生活の中から、情報収集を行い、把握に努めている。会話の中からも今の気持ち等を把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様との日々のコミュニケーションや、観察により、本人のできる事出来ない事、リズム等を見極め、職員間で情報の共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	職員で話し合った事を、再度ご家族に報告、検討してもらい、必要に応じて医療機関等の関係者と連携しながら現状に即した介護計画書の作成に努めている。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	個別記録だけでなく、担当者会議、事業所会議、ヒヤリハット報告書、事故報告書等をもとに、サービスの内容の見直しを行っている。申し送りノートを作成し、毎日そのノートを見て随時、ケアの処遇変更を職員間に伝達している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	気持ちが落ち着かない時には、ご家族様と連携し、電話で話しをしてもらったり、ゆっくりと職員との談話で気分を変えてもらう。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	コロナの為参加は無理だったが個別レクや集団レク等の提供も行い、日常生活が楽しくなるよう支援している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	通いなれた病院への受診を基本としている。ご家族が通院をされる場合においても、管理者が足を運び、担当医との面識を作る取り組みをしている。施設の情報紙面に記入し、通院時担当医にご家族より渡して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p><b>○看護職員との協働</b></p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>提携している医院へ日々症状報告書を送り、情報の共有に努めている。又、訪問看護ステーションの看護師が来所した際には申し送りを行い、何かあった時には、電話連絡し、相談・助言を受けている。利用者様の小さな事でも看護職員と相談を行っている。</p>		
32		<p><b>○入退院時の医療機関との協働</b></p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中定期的に面会に伺い、主治医や医療連携室、薬剤師や看護師へ状況の確認を行いながら、退院に向けて備えを行っている。面談が行えない場合は電話にて情報を得ている。</p>		
33	12	<p><b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約の際に、重要事項の説明として、伝え同意を得ている。又、面会に来られた際には、現状を伝え、ご家族へ、事業所として提供できる限界について等説明しながら、ご理解頂けるように取り組んでいる。又、入院時に継続した医療が必要となる場合には、主治医や入院先の医師に相談し、連携を図りながら、チームでの支援に取り組んでいる。</p>		
34		<p><b>○急変や事故発生時の備え</b></p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>特に夜間帯の急変に備え、新入職員への緊急時の対応について、管理者が説明を行い、訓練を実施している。急変時のマニュアルに基づき研修で年1回実践を行っている。</p>		
35	13	<p><b>○災害対策</b></p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を実施し、火災発生時に備えて訓練を行っている。夜間帯を想定し、野外への避難誘導が身に付くよう訓練している。</p>		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	些細な事に注意が払えるよう日頃から職員全員で注意しあいながら、プライバシーや尊厳を損ねない対応に気を付けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	行動する前には、必ず、ご本人の意向確認を行うよう取り組んでいる。答えが難しい方でも質問の仕方を選択肢を設ける投げかけを行い、自己決定に繋がるよう取り組んでいる。職員が決めるのではなく本人決定を促しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務優先とならないように常日頃から注意しながらご本人にペースに合わせて支援をさせて頂いている。介助するばかりではなく出来る事は少しで行って頂く支援を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時・入浴時には必ずご自身に服を選んで頂いている。又、ご自身で身だしなみを整える事が出来ない方は職員が希望を聞きながら髪や服を整えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事メニューを食事前に伝え食事を楽しみにして頂く様に努めている。音楽をかけながらリラックスして頂けるよう環境を整えている。嫌いな物がある日には、個別メニューを作るようにしており、リクエストをお聞きし、メニューに取り入れる事もある。行事の時手づくりの食事を提供している。		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p><b>○栄養摂取や水分確保の支援</b></p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分量を確認しながら、少ない方へのアプローチは目標に掲げる等し、こまめに取って頂けるよう、好みの飲み物を取り入れながら提供している。食事に関しても、個別に形態を調整し、好みに合わせて提供する時もある。</p>		
42		<p><b>○口腔内の清潔保持</b></p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアの実施を全ご利用者様に実施して頂いている。訪問歯科医の医師と連携し、個別的に指導を仰ぐこともあり、口腔内の衛生が保てるように取り組んでいる。</p>		
43	16	<p><b>○排泄の自立支援</b></p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>基本的に、ご利用者様トイレ誘導を実施しトイレにて排泄して頂けるよう誘導している。個別に排尿パターンを把握し、訴えがあった場合には随時誘導を行っている。</p>		
44		<p><b>○便秘の予防と対応</b></p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便がなかなかない場合にはお風呂やトイレにて腹部マッサージさせて頂く等し、自力排泄が促せるよう取り組んでいる。毎日乳製品やヤクルトを飲んで頂いている。</p>		
45	17	<p><b>○入浴を楽しむことができる支援</b></p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の希望を確認し，その方の希望に沿えるように声掛け促しをさせて頂いている。順番に関しても，一番風呂を好まれる方，最後を好まれる方等それぞれの希望に沿って一人一人の支援を行っている。入浴剤を好まれる方等への対応も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中の活動後の休息への配慮を個々に行っている。日中傾眠が強い方は、少しの時間ベットで休んで頂き、夜間の影響ないように取って頂く。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬マニュアルに沿って提供を行っている。日々の状態に配慮し、内服薬の見直し等、体調に変化があった場合には医師に相談し、調整をして頂いたりする事もある。変更があった場合には必ず、職員間で申し送りをを行い、情報の共有に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>会話が好きな方にはしっかりお話をしながら、他者と繋がりができるよう取り組みを行っている。カラオケが好きな方にはカラオケを提供し、手作業が得意な方にはそちらを提供する等1日の中で、生活が楽しくなるよう支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>月の目標に掲げ、計画を立てながら外出の支援を行っている。買い物の希望を確認しつつ出来る限り希望を叶えられるように取り組んでいるが本年はコロナの為出来ていない。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>金銭に関しては基本家族が管理されている。中には社協の福祉サービス利用援助事業「かけはし」を利用され、自身で管理をされている方もおり、外出の希望があった際に使用されている。</p>		



自己評価	外部評価	項目（グループホーム光明牛田Bユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内にユニット名を記入お願いします	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望時にはホームの電話にてご家族と連絡を取り合う方もいらっしゃる。手紙についても、書かれた際には、職員と一緒にポストへ投函しに行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節の花や、ご利用者様と一緒に季節の飾りを作り、一緒に飾る等行っている。トイレ内には自動消臭機を設置し不快感への配慮や、光が強い時には居室やホールのカーテンを閉める、心地よい風が入る時には窓を開放する等、環境面への配慮も行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食事時以外は自由に席に座って頂き、ご利用者様の自由に使って頂いている。居場所作りとしては、ソファが好きな方や一人がけのテーブルが好きな方等出来る限り個々に合わせ対応させて頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>基本的に入所の際には、ご家族様にご本人が使い慣れた物を持って来て頂けるようにしている。職員が自宅に伺い、実際の間取りと同じように家具を設置する等行う事もある。又、プレゼントや本人が作られた作品等を飾り、自由に使っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご自身の所有物に制限はかけず、持ち込んで頂いている。日常生活においても、極力手は出さず、見守る事から状況を見極め、それぞれに合った支援を心掛けています。花の水やりなどを行って頂き、洗濯ほしや洗濯物をたたんで出来る事に支援を心掛けています。</p>		

V アウトカム項目( グループホーム光明牛田Bユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム光明牛田

作成日 令和4年11月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み。	家族の方の参加を希望して家族の方に意見がいただけるようにしたい。	コロナの為、参加が難しければ家族のかた一部でなく全員の方に意見を聞くためアンケート用紙を作っていく。	1年
2	15	元々グループホームは食事を作ったりしていたが今の状況ではできていない。	1週間の中で1回は利用者様と食事作りをしていきたい。	週1回は手作り食事を実施していきたいので材料など意見を聞いて買い物を行い切ったり味付けなどをしていきたい。	6か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。